

# ポリスチレン 受払表

日本スチレン工業会

2009年(平成21年)6月

単位:t

		当月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫		86,164	110	80
生産		63,126	97	102
出荷	内需	70,519	128	88
	輸出	3,087	172	88
	計	73,606	129	88
月末在庫		75,684	88	89

内需内訳	当月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	13,079	126	72
包装用	32,806	121	92
雑貨産業用	12,019	165	95
FS用	12,615	122	92
合計	70,519	128	88

2009年(平成21年)1-6月

単位:t

		当期実績	前期比	前年 同期比
繰越在庫		106,417	125	112
生産		312,729	80	74
出荷	内需	330,069	93	80
	輸出	13,399	83	63
	計	343,468	93	79
月末在庫		75,684	71	89

内需内訳	当期実績	前期比	前年 同期比
電機工業用	60,573	76	62
包装用	155,319	96	84
雑貨産業用	49,633	114	85
FS用	64,544	92	88
合計	330,069	93	80

## PS 及び SM の 2009 年 6 月度、1～6 月期の実績概況

### PS 2009 年 6 月度

生産は、前年同月比+2%で今年初めてプラスとなった。定修は2社3工場である。  
(前年は3社3工場)

国内出荷は、7万トニ台となり今年になって最大の出荷量となった。4用途のすべてで今年最高の出荷量となっている。ただ、前年も今年も値上げ前の先行出荷があるものと思われる。前年同月比は-12%である。

電機工業用は前年同月比-28%である。生活家電がわずかながら前年同月を超え、デジタル家電も数量は増えてきている。一方で事務機器は回復が遅れている。包装用は前年同月比-8%である。雑貨産業用が-5%、FS用が-8%であるが、先行出荷もあると思われる。

輸出は、戻りつつあり、前年同月比では-12%である。

出荷合計は今年最高の量となったが、前年同月比では-12%である。

在庫はかなり低水準の7.5万トニに減少した。

### PS 2009 年 1～6 月期

生産は、出荷減を反映した1～3月期の大幅減産の影響で90年以降最少となった。前年同期比は-26%である。(1～3月期:-44% 4～6月期:-7%)

国内出荷は1～6月期として90年以降最少の33万トニである(前年同期比は-20%)。包装用途以外の3用途で90年以降最少となった。しかし国内出荷は2月を底に徐々に回復しつつある。(1～3月期:-26% 4～6月期:-14%)

電機・工業用が前年同期比-38%、包装用が-16%、雑貨産業用が-15%、FS用が-12%と電機・工業用の落ち込みが大きいのはデジタル家電向けと事務機器向けの低迷による。

輸出は前年同期比-37%の1.3万トニと減少した。(1～3月期:-47% 4～6月期:-27%) 1～3月期にデジタル家電向けの輸出が減少した影響が大きい。

出荷計は1～6月期として90年以降最少の34.3万トニとなった(前年同期比-21%)。(1～3月期:-27% 4～6月期:-15%)

在庫はかなり低水準の7.5万トニ台となっている。

# スチレンモノマー 受払表

日本スチレン工業会

2009年(平成21年)6月

単位:t

		当月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫		82,264	85	76
生産		285,800	104	112
出荷	内需	127,898	109	87
	輸出	164,440	96	131
	計	292,338	101	107
月末在庫		84,600	103	83

内需内訳	当月実績
GP・HI	59,149
EPS	12,123
AS	6,081
合成ゴム	9,100
不飽和 ポリエステル	1,631
ABS	15,249
その他	24,565
合計	127,898

2009年(平成21年)1-6月

単位:t

		当期実績	前期比	前年 同期比
繰越在庫		100,066	98	110
生産		1,447,276	109	94
出荷	内需	601,213	74	65
	輸出	875,411	156	137
	計	1,476,624	107	95
月末在庫		84,600	85	83

内需内訳	当期実績
GP・HI	290,146
EPS	57,923
AS	19,859
合成ゴム	56,364
不飽和 ポリエステル	7,321
ABS	74,080
その他	95,520
合計	601,213

## SM 2009年6月度

生産は、前年同月比+12%で、3ヶ月連続で前年を上回っている。(定修は今年1社1工場、昨年も1社1工場)

国内出荷は、2月を底に毎月増えている。前年同月比では-13%である。PS向けとAS向けが前年同月を上回っているが、ABS向け、合成ゴム向けなどは今ひとつ勢いが無い。今月も国内出荷は輸出を下回っている。

輸出は単月として先月に続く史上2位の数量となり、5ヶ月連続のプラスである。前年同月比+31%と高水準が続いている。

出荷合計は輸出増により前年同月比+7%で4ヶ月連続のプラスとなっている。

在庫は若干増加して8.4万トである。

## SM 2009年1~6月期

生産、出荷は2月に底を打ち、回復基調にある。

生産は定修が少ない年ではあるが、減産もあって前年同期比-6%の144万トとなっている。(1~3月期:-19% 4~6月期:+8%)

国内出荷は1~6月期としては90年以降の最少であった前年同期を大幅に下回り、-35%の60.1万トとなった。(1~3月期:-48% 4~6月期:-21%)  
全般に減っているが、ABS向けや合成ゴム向けの回復が遅れている。半期でも国内出荷が輸出を下回っている。

輸出は2月以降増加し、前年同期比+37%と大幅増となっている。(1~3月期:+29% 4~6月期:+43%)

1~6月期の輸出量としては2007年を抜いて史上最高となった。  
(2009年1~6月期:87.5万ト 2007年1~6月期:84.4万ト)

出荷計は輸出の大幅増があるものの、国内出荷の大幅減をカバーしきれず、前年同期比-5%の147.7万トである。(1~3月期:-18% 4~6月期:+7%)

以上